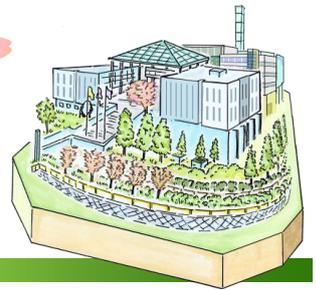


2024(R6)年 5 月 No321 (隔月発行)



しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

【目次】

P2 TOPICS (委嘱式等)

P3 各チーム活動報告

P4-5 特集 SDGs 啓発PT

P6 主担研究員コラム(花嶋先生)

P7 市民研究所通信(所長ご挨拶)

P8 5・6月の予定



わたしから

TOPICS

春フェスタの手作りおもちゃに参加して

3月10日(日)に春フェスタが行われました。10時~13時まで3回に分けて、マルチホールで『ヘリコプター』のおもちゃ作りを行いました。

参加者は、大人1名、小学生低学年7名、児童(最小2才)14名、合計22名一生懸命作っていたのが印象に残りました。

自由に色塗りをし、ハサミで切り取り、組み立てて完成です。

全員上手に作り、飛ばして遊びました。

皆さんとても喜んでおもちゃを持ち帰りました。

材料は牛乳パックです。リサイクルも必要ですが、このような楽しみ方も感じていただきました。

《市民研究員 綿谷一》



令和6年度 市民研究員委嘱状交付式

令和6年4月6日(土)午後1時より、くるくるプラザ講義室で市民研究員委嘱状交付式が行われました。

はじめに小幡所長より挨拶があり、7名の主担研究員と事務局9名・新職員1名が加わったことを紹介後に所長より市民研究員38名(内新研究員2名)の出席者へ一人ずつ委嘱状が手渡されました。

今年度は出前講座の依頼も増えて、各チームの活躍の場が多くなりそうです。交付式後は毎年恒例、満開の桜の木の下で記念写真を撮影しました。



《市民研究員 糸永陽子》

プロジェクトチーム (PT)・アクションチーム (AT) 活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

家庭から出ているプラごみを研究するために、各メンバー自宅の3日分のプラごみを持ち寄り、計量・記録しました。また、環境への負荷軽減に取り組んでいる企業について、見学を検討しています。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

ブログ原稿についての協議と次回アップするブログ原稿の確認を行いました。その他、各メンバーから提出された研究報告書の原稿について、内容を検討したり、様式等について確認作業を行いました。

身近な環境を調べよう PT

他チームの方々にも池の調査に参加・協力してもらえよう、準備を進めています。より多くの池のデータを集めることを目指しています。



SDGs 啓発 PT

4月定例会では、施設見学先を複数提案して検討しました。その他、環境出前講座（クラブ支援）のファシリテーター担当を決めましたが、定例会日程を新年度になりメンバーの参加可能日にバラツキが出ているので一番参加可能な日程に調整しました。また、環境出前講座で活用出来るカードゲームのバリエーションを増やすための協議も行いました。

手作りおもちゃと環境 AT

今年度はメンバーが少し減ってしまいましたが、学校への出前講座が8校になるので協力して活動していきたいです。イベントでの手作りおもちゃ体験に新しいモノを取り入れていきたいです。

紙すき体験と環境 AT

新しいメンバーの出前講座でのスキルアップに力を入れると、AT代表の金子さんが頑張ってくれています！出前講座も見学後の体験も増えそうなので忙しくなりそうですね！

マイ食器啓発 AT

マイ食器作製に向け、クラウドファンディングに初挑戦します。ご支援よろしくお願いたします！

SDGs から IDGs への連動について感じる事

SDGs 啓発 PT 市民研究員 三枝 茂

はじめに

2015 年から始まった世界での SDGs の取り組みが定められて 9 年目に入りました。期限の 2030 年までに本当にゴールに到達するのかが話題になっています。17 の目標と 169 のターゲットに対して現実に照らし合わせると様々な事情により、達成の障害となり難しいとされています。2023 年の日本の SDGs 達成ランキングは 21 位となっており、中々、私達の生活の中で身近に感じられる部分は少ないと思いますが、大阪府の食品ロスに対する意識調査が直近では 2018 年に行われています。その結果を踏まえて感じた事を述べてみたいと思います。

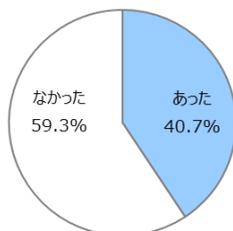
大阪府の SDGs の現状について感じる事

プラザの活動以外で個人的に並行して関わっている“もったいないやん活動隊”の講座で大阪府が SDGs の活動の一環で食品ロスについて 5 年に 1 度くらいの頻度でアンケートによるデータを取られている事を知りました。内容が興味深かったので紹介したいと思います。

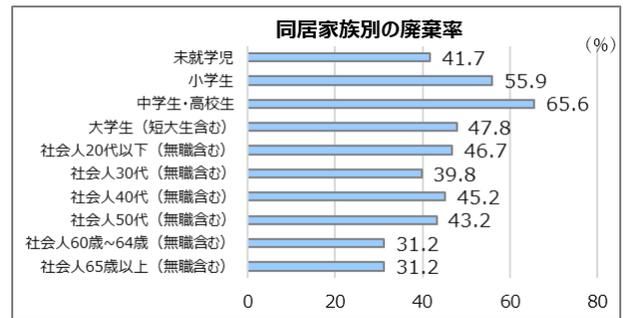
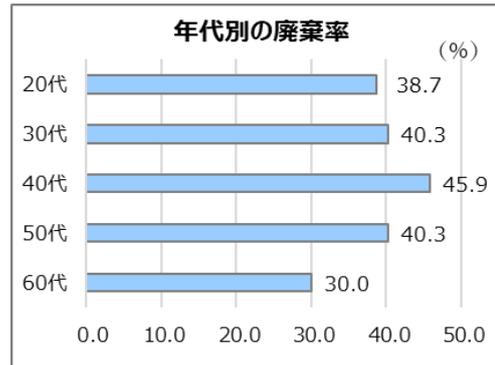
(調査内容)

- 1.対象 大阪府内に居住する世帯 (20~60 代)
- 2.サンプル数 有効回収 300 票
(有効回収率 69.9%)
- 3.調査方法 インターネット
- 4.調査機関 2018 年 11 月 6 日~26 日

捨てる食品・食材の有無

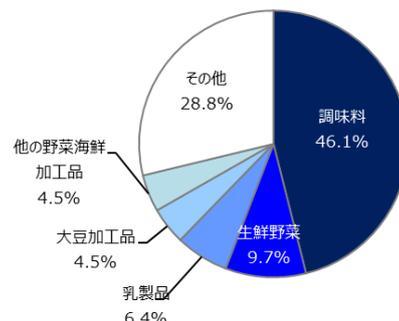


- ・冷蔵庫内に保管している食品の中で廃棄が発生したのは、40.7%であった。



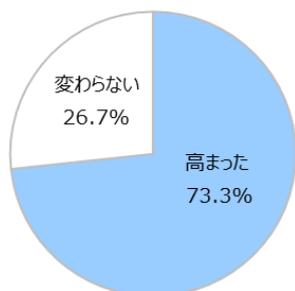
- ・廃棄が多いのは 40 代
- ・廃棄する食品は調味料・生鮮野菜で 50%超
- ・調味料は件数ベースで 46.1%を占めて 購入量の 1/3 以上が捨てられていた

捨てる食品・食材の件数



実際にこのアンケートの結果を踏まえて、数値を再認識する事で約 70%の世帯で食品ロスを減らさなくてはならないとの意識の高まりがあったとの感想がありました。

アンケートの結果による食品ロスを減らそうという意識の高まり



これらの結果から、まだまだ課題は残されているものの想像以上に食品ロスの現状に対する府民の方達の意識が高く、結果に対して敏感な反応を示している事がわかりました。

大阪府自体も「大阪府食品ロス削減推進計画」として大阪府の食品ロス量を2000年度の数値から2030年度には50%に半減させる。2030年度までに食品ロス削減の為に複数の取り組みを行う府民の割合を90%にするとの目標が掲げられ事業者向けの取り組みとして「パートナーシップ制度・フードバンクガイドライン・飲食店・小売店での実証実験」等の打ち出しが行われ、消費者への取り組みとして上記の「家庭の食品ロス実態調査」に繋がっています。

SDGs から IDGs への動き

今回、アンケートの結果や普段、環境出前講座等でのワークショップで体験して感じたのは、SDGsは十分理解されていながらも自分事として捉え切れていない部分があるのでは？という事です。国や地方自治体、企業からの様々な取り組みがありますが、中にはSDGs ウォッシュ（実態が伴わないのにSDGsに取り組んでいる様に見える事）などで表面的な取り組みのみに留まっているケースも少なくないのでSDGsを実現させる為に何か足りない要素があるのでは無いかという問題意識から生まれたのがIDGsです。IDGs（インクルーシブディベロップメントゴールズ）の略でSDGsの持続的な開発目標の枠組みを補完するものとして提唱されています。つまり、私達が持っている意識が今の状況に繋がっているとすれば、今までの私達の意識や、それによって引き起こされる行動を考え直していかなければ、何も変わらないという事から始まっています。

IDGs5つのカテゴリー

- ① 自分の在り方（自己との関係）
(Being-Relationship to Self)
- ② 考える（認知スタイル）
(Thinking-Cognitive Skills)
- ③ つながり意識する（他者や世界を思いやる）
(Relating-Caring for Others and the world)
- ④ 協働する（社会的スキル）
(Collaborating-Social Skills)
- ⑤ 行動する（変化を推進する）
(Acting-Driving Change)

SDGsをハードだとするとIDGsはSDGsを動かし、成果を加速するソフトウェアといえるかも？

SDGs 啓発 PT としての 2024 年度活動

プロジェクトチームとしては、SDGs 関連のカードゲームを活用して吹田市内の小学校4校とプラザでのイベントや外部のイベントにて環境出前講座のワークショップを中心に活動して来ました。毎回、一定の評価も頂ける様になり、少しずつですが、メンバーのファシリテーターとしての技術も成長して来ていると感じております。これを踏まえて2024年度は吹田市内の小学校からの要請も4校から8校に増え、外部でのワークショップを行う機会も着実に増えていく予定です。現在、活用しているカードゲームは、十分にSDGsへの理解、必要性、環境の大切さは理解出来る内容になっております。これに加えてメンバー全員がIDGsに対する理解を深めて確実にワークショップの場で伝えられる様しっかりと学習して行きたいと思えます。



(資料：大阪府家庭の食品ロス実態調査より)

廃棄物資源循環学会に入りませんか

主担研究員 花嶋温子

廃棄物資源循環学会

もともとは、1990年に「廃棄物学会」として設立され、2008年に、現在の「廃棄物資源循環学会」という名称に変更しました。

もちろん、基本は学術団体なのですが、廃棄物の問題は、机上の理論や技術だけでは解決できません。そこで、その使命のなかに「社会と密接なコミュニケーションに基づき、市民をはじめ学会内外の多様な主体の参加と、幅広い学術的基盤の上に実学を指向する総合学会として社会に貢献します」と書いてあります。つまり、市民の参加もウェルカムなのです。

幅広い研究分野

廃棄物資源循環学会は、教育、研究、行政、製造、流通、消費、処理など様々な分野で廃棄物問題や資源の循環などに関係する市民、企業、行政、教育研究機関の人々によって構成されています。学術分野をみても、工学、理学、農学、社会学、経済学、法学、医学など様々な分野の人々が参加しています。

市民会員の制度

廃棄物資源循環学会には、正会員（個人）以外に、個人市民会員という会員制度を設けています。個人市民会員は、正会員（年会費9000円）よりも、会費負担が4000円安い、年会費5000円で、学会誌が隔月で送られてきますし、研究発表会などの学会行事にも参加できます。（研究発表や論文投稿に制限はありますが、必要になったときに正会員に変更することが可能です。）

毎年5月に春の研究討論会があります、こちらは例年、神奈川県川崎市で開催されています。また、毎年9月ごろには研究発表会があります。こちらは全国各地を順番に回っています。昨年は、ちょうど大阪の順番で、大阪市にある大阪

工業大学で開催されました。今年は、少し遠い茨城県のつくば国際会議場で開催されます。個人市民会員は、春の研究討論会（無料）や研究発表会（有料）に参加できますので、幅広い分野のさまざまな最先端の研究を聞いてみるのも興味深いと思います。

支部活動や研究部会活動

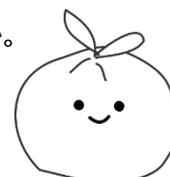
また、全国的な活動以外にも、北海道から九州まで7つの支部があり、それぞれに活動をしています。私たちに関係深いのは関西支部です。関西支部では、技術セミナー、法制度セミナー、学生見学会などを毎年開催しています。

さらに、現在14の研究部会がそれぞれ活動を展開しています。たとえば、「消費者市民研究部会」は月に1回程度「サロン・ド・ごみ」というオンラインでのお話会をやっています。私が代表をつとめる「環境学習施設研究部会」では、全国にあるごみ処理施設に付設された市民啓発のための施設のレベルアップを目指して、ネットワークをつくらうとしています。また、「環境学習施設ハンドブック」を出版するための準備をすすめています。ほかにも、「災害廃棄物研究部会」は実際の災害時に環境省に協力していますし、「ごみ文化・歴史研究部会」「廃棄物計画研究部会」などさまざまな部会があります。

入会方法

詳しくは、廃棄物資源循環学会のホームページを御覧ください。実際の申し込みには形式上学会員の推薦が必要となりますので、市民研究所の事務局経由で私（花嶋）までお知らせください、推薦させていただきます。

新しい世界を覗いてみませんか。



市民研究所通信

新年度おめでとうございます。

千里リサイクルプラザ・市民研究所の30周年記念事業も終わり、新たな未来の姿を描いた活動プログラムを創っていかねばなりません。

この市民研究所のような市民が主体で虫の目で観察して活動を続けている組織は日本のなかでは他にみたことがありません。

これまでは、どちらかという内側に発信するという形態でしたが、これからはもっとも外部に向けて調査研究の成果など情報発信して外部との交流も深めていきたいと思えます。

これからの3年間のプラザの活動の方向としては、環境教育、情報・見える化、国際化、関西万博、そして施設連携などについて拡大主担研究員会議などで議論し、整理をしたところです。

今年度は、創造的破壊を目標にしたいと思えます。創造的破壊は、アメリカの経済学者・シュンペーターが使い始めた言葉です。これをプラザ・市民研究所に当てはめれば、各種イベントや催し物、市民研究所の活動、工房での活動も対象に、いま以上に楽しく面白いものに変えていかねばなりません。現在あるものを少しでも壊して新しものを創るというチャレンジ精神が大切になります。

千里リサイクルプラザへ行けば何か良いことがありそうと来訪者に言ってもらえる、そして多くリピーターが生まれ、常に賑わいのある楽しいところを目標にしたいと思えます。

理事長・市民研究所長 小幡 範雄

クラウドファンディングに挑戦します！

くるくるプラザの市民研究所では、市民目線で、調査・研究・啓発活動を7つのチームで行っています。その一つマイ食器啓発アクションチームではマイ食器持参を呼び掛けています。使い捨ての容器などのごみを減らし、いつでもどこでもたたくで持ち運べるマイ容器をマイバッグに携帯して欲しい！そんな思いからくるくるプラザで容器を作製することになりました。

この度クラウドファンディングで支援金を募り、イベントやテイクアウトなどにも使っていただける容器を拡げていきたいと思えます。皆さまのご支援、心よりお待ちしております。尚、詳しくはくるくるプラザHPのお知らせをご覧ください。CAMPFIRE サイトでも直接ご覧いただけます。『もったいない』を言わなくて済む世の中になりますように…。

*CAMPFIRE サイト → kurukuruplaza で公開中！

右記のQRコードを読み取って応援して欲しいです。

どうぞよろしくお願いいたします m(_ _)m



CAMPFIRE

市民研究所 5月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	水			
2	木			
3	金	休館日		憲法記念日
4	土	休館日		みどりの日
5	日	休館日		子どもの日
6	月	休館日		
7	火	定例会	13:00～ プラザ	手作りおもちゃと 環境AT
8	水			
9	木	定例会	14:30～ プラザ	SDGs啓発PT
10	金			
11	土	第2回代表者会議	13:30～ プラザ講義室	主担・代表者・事 務局
12	日			
13	月	休館日		
14	火			
15	水	定例会	13:00～ プラザ	ごみゼロシステ ム研究PT
16	木			
17	金			
18	土			
19	日	ぐるぐるファイナルフリマ		●
20	月	休館日		
21	火			
22	水			
23	木			
24	金	第1回研究運営委員会	14:00～ プラザ講義室	
25	土			
26	日			
27	月	休館日		
28	火			
29	水			
30	木			
31	金	定例会	13:30～ プラザ	マイ食器啓発AT

施設リノベーションPG
会議 14:30～

市民研究所 6月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	第3回代表者会議	13:30～ プラザ講義室	主担・代表者・事 務局
2	日	定例会	13:00～ プラザ	手作りおもちゃと 環境AT
3	月	休館日		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金			
8	土	ぐるぐる環境スクール①	10:00～ プラザ講義室	開校式
9	日			
10	月	休館日		
11	火			
12	水			
13	木			
14	金	もったいないバザール 実行委員会		
15	土			
16	日	環境問題講演会 ぐるぐる環境スクール②	13:30～15:30 プラザマルチホー ル	●
17	月	休館日		
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月	休館日		
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			



は、資源リサイクルセンター（ぐるぐるプラザ）の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。